

(四) 信用組合

昭和二十六年といえばマツカーサー帰任の後を受けてリツヂウエイが新司令官として就任した年であるが、何よりも特筆さるべきは九月九日サンフランシスコで日米間の講和条約が調印され、日本が戦後六年に亘る被占領国の束縛から離脱し、世界家族の一員に参加したことである。八千万国民は真にこのことを喜びひるがえる日章旗の下で涙をもつて日本再建を誓いあつたものである。

その頃、なお強い習字復活運動に支えられて郷土の毛筆界は順調に伸びていった。が、反面産業資金への渴望も強度であつた。

たまたま、県の特産物融資に手がかりを求めようとした少数の有志は昭和二十七年頭初より熱心に数回の会合を開き、先づ同融資の前堤である信用組合の設立を計画したのである。毛筆が特産物であることは論を要しないところ、問題はこの種組合の最低線出資者三百名以上、出資金二百万円以上の熊野信用組合を創設することの一点に集約せられ、先づ目標を前者四百五十名、後者三百万円に定め着々準備活動を進めて行つた。

当時は独立直後、政府は自主経済確立のため特に中小企業対策として地方産業の振興に重点を向け低利資金の融資を実施中であつて、その波に乗ろうとする民衆の総意は期せずして一度、昭和二十七年五月二十一日発起人の才一回協議会以来二ヶ月余を以て組合員五百八名、口数六千八十六、一口五百円全額払、出資金三百四万三千円の熊野信用組合として同年八月一日新しいスタートを切つたのである。今、この数字と年度初年度の飛躍

年 月	組合員	口 数	払込出資金
昭二七、八、一	五〇八	六、〇八六	三、〇四三、〇〇〇
三、三一	六一〇	六、八七六	三、四三八、〇〇〇
増 加	一〇二	七九〇	三九五、〇〇〇

熊野信用組合のあしどり

末のそれとを対比すれば初年度の活躍が如何に大巾なものであるかが分るのである。このような上昇は以来どの年にも見られないものである。この組合は創立五ヶ年に亘る短かい歴史しかもつていないがその生育が順調なあゆみに恵まれていることは次の表を見ても分るところである。

年度	組 合 長	組 合 員	口 数	払込出資金	貯 金 高	貸 付 高	備 考
昭二七	伊藤 実雄	六二〇	六、八六六	三、四三八、〇〇〇	三、三六五、八八八	三、一八三、二七〇	一口五〇〇円全額払
二八	馬上 次内	六八二	八、四〇〇	四、一〇一、〇〇〇	三、七六八、八三三	三、三九七、〇五〇	
二九	馬上 次内	六九六	九、一七五	四、五九六、〇〇〇	三、〇七六、八三三	三、二〇五、八三三	
三〇	〃	七〇四	九、五五五	四、七九一、五〇〇	三、五三三、五五六	三、五五六、〇〇〇	
三一	〃	七二〇	一〇、三三七	五、一五八、〇〇〇	四、一三三、二二二	三、七四九、六九八	

備考 1 各年度は四月に始まり三月に終る。
2 昭和二十七年度は八月から三月まで八ヶ月の実績である。

即ち、組合員や出資金の増加につれて貯金及貸出等の業務も進展し、一般への認識と利用とが、それだけひろがつてきたことになる。この組合はその定款第一条において目的をかかげ「この組合は中小規模の事業者、勤労者その他の者の協同組織により、これらの者に必要な金融事業を行うことを目的とする」と述べている。一応、従つて、勤労者その他を含めた一般大衆に窓口を公開しているが、それでも、貸付に関する限り、他の機関例えば農業協同組合にくらべて、事業者の利用比率が高いことは、この地域が筆によつて支えられていることを如実に示すものである。そして、その反面、この組合が、特に手形割引の事務を取扱つて

貸付利用率表 (%)

利用者	信用組合	農 協
事業者	九一、九	四八、一
その他	八、一	五一、九
計	一〇〇、〇	一〇〇、〇

備考 昭和三十一年度貸付金を種類別に分ち比率を求めた。

に多いものである。庶民金融機関は零細な金を吸収してこれを利用するものであつて、この信用組合もまたその例外でありうる筈はない。その意味において熊野信用組合もわれわれの組合なのである。

り、他の機関例えば農業協同組合にくらべて、事業者の利用比率が高いことは、この地域が筆によつて支えられていることを如実に示すものである。そして、その反面、この組合が、特に手形割引の事務を取扱つて

いるという独自の性格をからませていることも忘れてはなるまい。事実全貸付の五二・二%は手形割引の利用度を示すのである。

一般勤労者は、むしろ貯金において結びついている。このことはいろいろな貯蓄機関について言えることである。事業者の利用する当座預金や一部の特殊な貯金よりも普通及定期乃至据置等の諸貯金の方がはるかに多いものである。庶民金融機関は零細な金を吸収してこれを利用するものであつて、この信用組合もまたその例外でありうる筈はない。その意味において熊野信用組合もわれわれの組合なのである。